

経営比較分析表

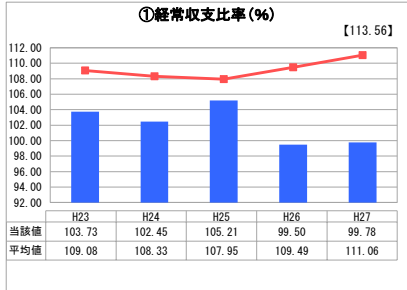
高知県 黒潮町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A7
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	53.69	98.75	2,270

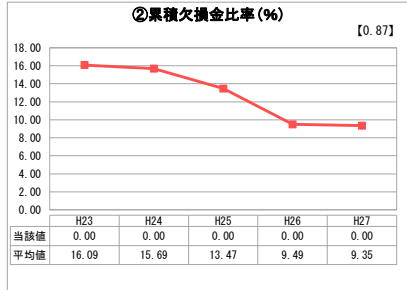
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,875	188.59	62.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
11,652	228.76	50.94

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

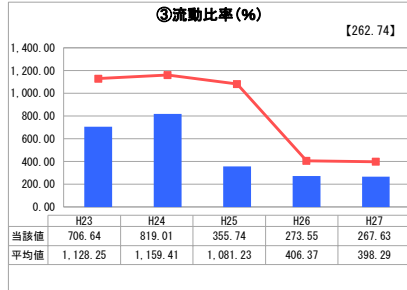
1. 経営の健全性・効率性



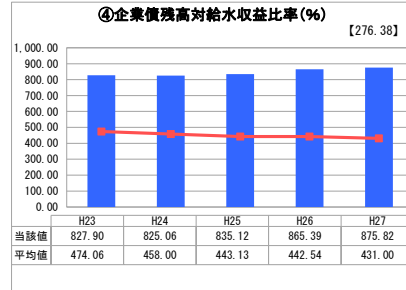
「経常損益」



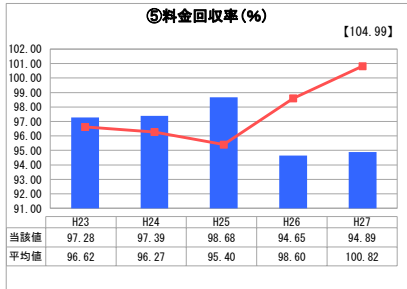
「累積欠損」



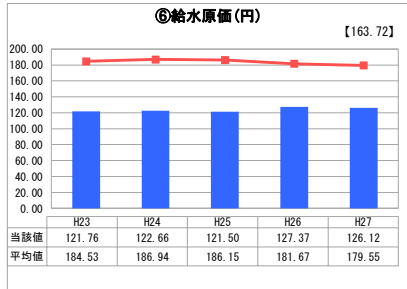
「支払能力」



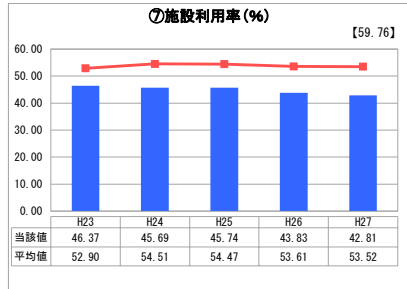
「債務残高」



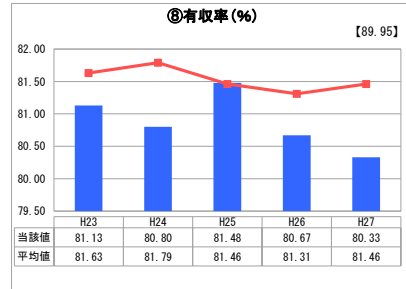
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

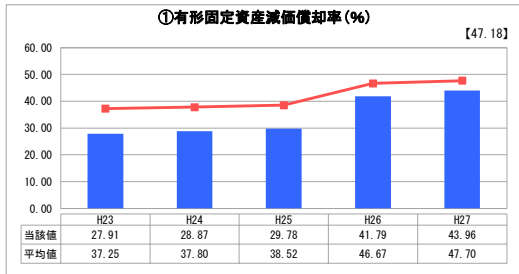


「施設の効率性」

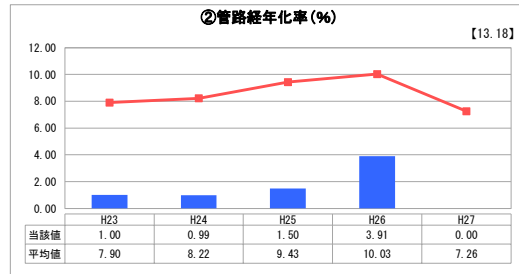


「供給した配水量の効率性」

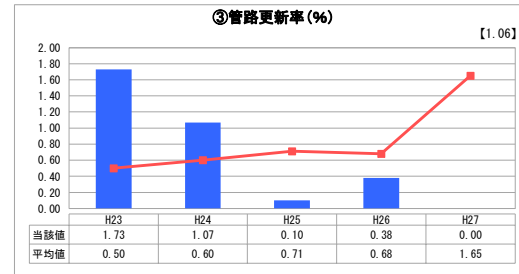
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

企業債残高対給水収益比率が類似団体平均値の2倍程度、経常収支比率、料金回収率、給水原価については差があり、低い状態にあります。また、施設利用率の低さについては施設統合等を図る必要があります。水道事業基本計画及び財政シミュレーションを基に水道料金の改定を行う予定です。

2. 老朽化の状況について

有収率や管路の法定耐用年数を考慮しながら、管路更新率が少なくとも1%を下回らないように管路更新に取り組む必要があります。水道基本計画に基づき管路更新を計画的に実施していく予定です。

全体総括

上記を踏まえ、将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給するために、その収支バランスが肝要で、水道事業基本計画に基づきながら、管路更新を計画的に行うとともに、財源となる水道料金の改定を行ってまいります。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。